

INDEX

P-1	contents (1) 投資が先かその必要効果を先に想定するのか 公共投資と投資効果
P-2	contents (2) 安易な設計一元化は個別対応を不可能にする 設計作業の標準化について
P-3	contents (3) かゆいところに届く接着工 工法の選定
P-5	contents (4) 施工技術向上と被着体耐用年数の想定が肝心 接着とその耐久性について
P-6	コラム① 安全を考える ~複合的構えによる優性~
P-9	contents (5) A法・C法は共に寸法管理上にある同種のもので A法・C法同軸因子論
P-10	contents (6) 可逆なのか不可逆なのかという問題 日当り作業量→標準代価表の不可逆性について
P-11	contents (7) 重要なのは許容応力度、平均値や最大値ではありません DKボンドモルタルの許容引張り接着強さについて
P-13	contents (8) 整える作業が施工レベルを決定します 清掃・水洗工の意義
P-14	contents (9) 第一に調査段階での精度が重要です 注入モルタル量の数量変動について
P-15	contents (10) 使用材料のロス率について 岩接着工における「材料補正」の問題と考え方
P-16	contents (11) 引張接着強さを本旨にしている工法 現場品質管理として圧縮・曲げ各強度試験を除く理由
P-17	contents (12) 材工一貫責任施工が重要です 材料・施工責任の切離しによる弊害について
P-18	contents (13) 類似工法ではない理念の違う吹付工と接着工 岩接着工法とモルタル吹付工法の不一致
P-20	コラム② 一般名表記による誤処方 ~供用材料の一般名表記に対する懸念~
P-22	contents (14) モデル化した安定計算のための単位重量 岩塊の単位重量
